

6) 予測結果

建設機械の稼働に伴う騒音レベル(L_{A5}：90%レンジ上端値)の予測結果(建設機械の稼働分)を図8.2-8(1)～(9)に示す。また、敷地境界の最大騒音レベル地点における予測結果を表8.2-12(1)に示す。なお、予測結果は、設定した音源(建設機械)が、仮に同時刻にすべて稼働した場合の状況を示している。

最大騒音レベル地点における建設機械の稼働に伴う騒音レベル(L_{A5}) (建設機械の稼働分)は、75～82dBと予測する。また、バックグラウンドを現地調査結果(一般環境騒音の調査結果(L_{A5}))の昼間の最大値：75dB)と想定した場合、合成騒音レベルは78～83dB、騒音レベル増加分は3～8dBと予測する。

同様に、③、④地点における騒音レベルの予測結果を表8.2-12(2)～(3)に示す。③地点は、建設機械の稼働に伴う騒音レベル(L_{A5}) (建設機械の稼働分)は60～68dB、バックグラウンド(③地点の現地調査結果(L_{A5}))の昼間の最大値：67dB)との合成騒音レベルは68～71dB、騒音レベル増加分は1～4dBと予測する。また、④地点は、建設機械の稼働に伴う騒音レベル(L_{A5}) (建設機械の稼働分)は48～77dB、バックグラウンド(④地点の現地調査結果(L_{A5}))の昼間の最大値：75dB)との合成騒音レベルは75～79dB、騒音レベル増加分は0～4dBと予測する。

表 8.2-12(1) 騒音レベルの予測結果(最大騒音レベル地点)

予測地点	年次	単位：dB			
		バックグラウンド※ (L _{A5})	建設機械の稼働に伴う騒音レベル (L _{A5})	合成騒音レベル	騒音レベル増加分
		(1)	(2)	(3)	(4)=(3)-(1)
最大騒音レベル地点	2020年度(2021年2月)	75	79	80	5
	2021年度(2021年10月)	75	80	81	6
	2022年度(2022年7月)	75	81	82	7
	2023年度(2023年8月)	75	76	79	4
	2024年度(2024年12月)	75	79	80	5
	2025年度(2025年9月)	75	76	79	4
	2026年度(2026年11月～12月)	75	75	78	3
	2027年度(2028年1月)	75	82	83	8
	2028年度(2028年5月～6月)	75	79	80	5

※バックグラウンドは、現地調査結果(一般環境騒音の調査結果(L_{A5}))の昼間の最大値を採用した。

表 8. 2-12(2) 騒音レベルの予測結果(③地点)

単位: dB

予測地点	年次	バックグラウンド※ (L _{A5})	建設機械の稼働に伴う騒音レベル (L _{A5})	合成騒音レベル	騒音レベル増加分
		(1)	(2)		
③	2020年度(2021年2月)	67	66	70	3
	2021年度(2021年10月)	67	65	69	2
	2022年度(2022年7月)	67	66	70	3
	2023年度(2023年8月)	67	68	71	4
	2024年度(2024年12月)	67	68	71	4
	2025年度(2025年9月)	67	61	68	1
	2026年度(2026年11月～12月)	67	60	68	1
	2027年度(2028年1月)	67	64	69	2
	2028年度(2028年5月～6月)	67	64	69	2

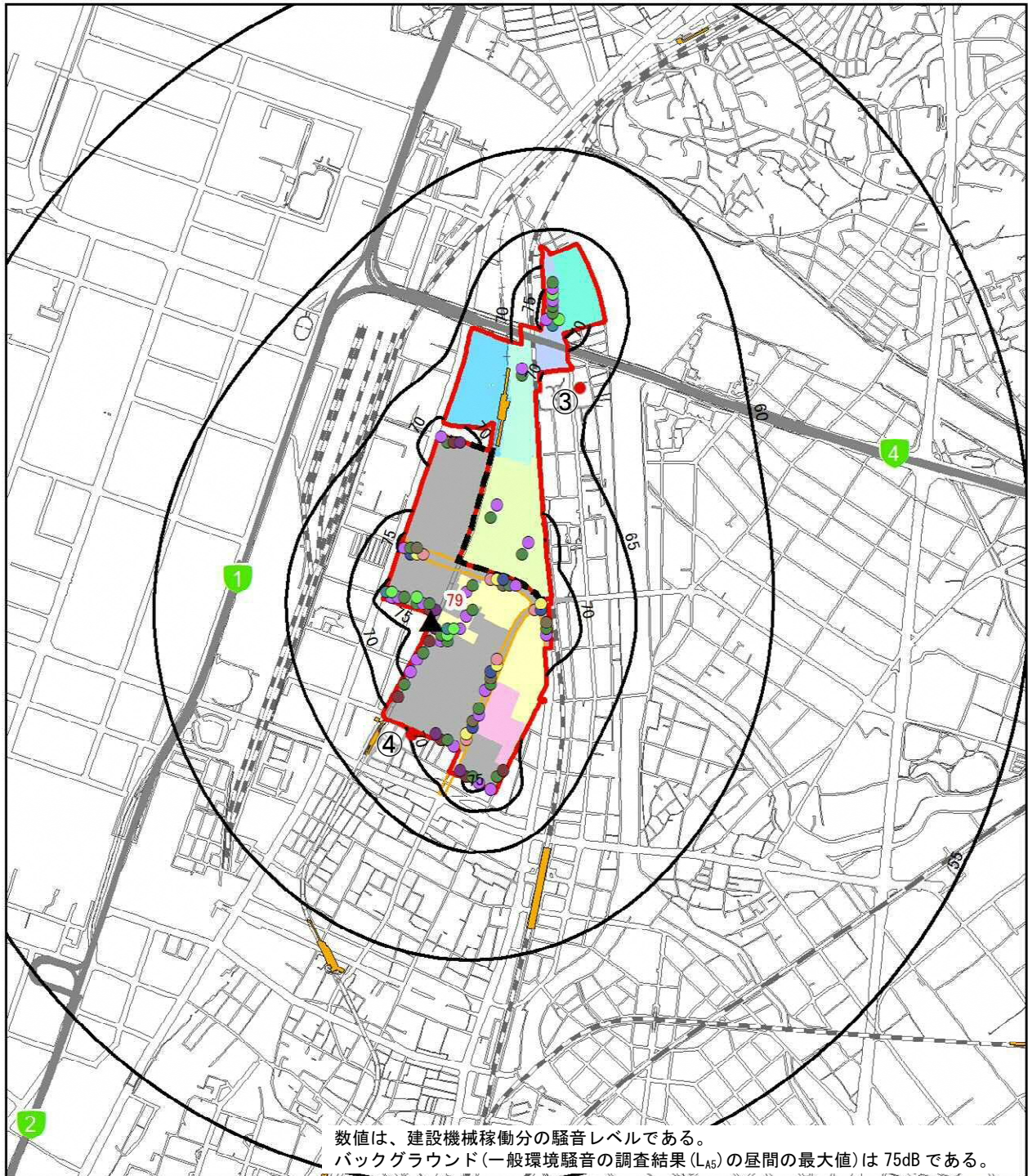
※バックグラウンドは、現地調査結果(③地点の調査結果(L_{A5})の昼間の最大値)を採用した。

表 8. 2-12(3) 騒音レベルの予測結果(④地点)

単位: dB

予測地点	年次	バックグラウンド※ (L _{A5})	建設機械の稼働に伴う騒音レベル (L _{A5})	合成騒音レベル	騒音レベル増加分
		(1)	(2)		
④	2020年度(2021年2月)	75	70	76	1
	2021年度(2021年10月)	75	69	76	1
	2022年度(2022年7月)	75	77	79	4
	2023年度(2023年8月)	75	52	75	0
	2024年度(2024年12月)	75	55	75	0
	2025年度(2025年9月)	75	50	75	0
	2026年度(2026年11月～12月)	75	48	75	0
	2027年度(2028年1月)	75	50	75	0
	2028年度(2028年5月～6月)	75	52	75	0

※バックグラウンドは、現地調査結果(④地点の調査結果(L_{A5})の昼間の最大値)を採用した。

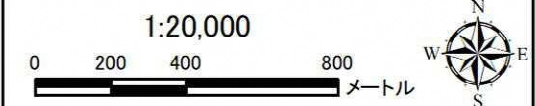


数値は、建設機械稼働分の騒音レベルである。
 バックグラウンド(一般環境騒音の調査結果(LA5)の昼間の最大値)は75dBである。

凡例

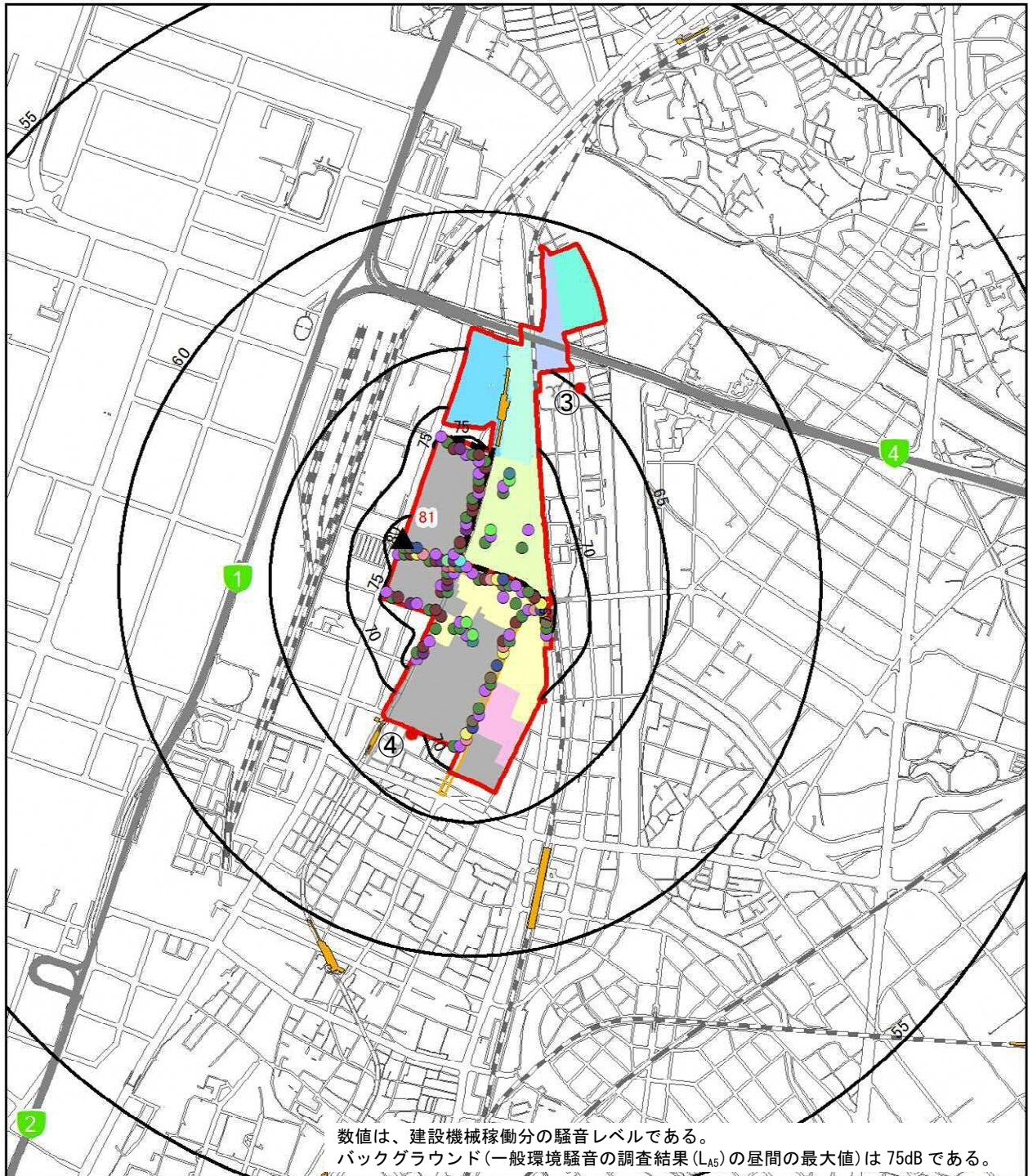
- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

- 工区割り**
- 北1工区
 - 北2工区
 - 北3工区
 - 北4工区
 - 北5工区
 - 南3工区
 - 近代建築物活用ゾーン
 - 予測地点
- 施工区域**
- 2020年度



- ▲ 最大騒音レベル地点(赤数字:騒音レベル)
 - 2020年度騒音レベルLA5(dB)(規制基準は85dB)
- 機械種類**
- アスファルトフィニッシャー
 - アースオーガ
 - タイヤローラー
 - ダンプ
 - トラッククレーン
 - バックホウ
 - マカダムローラー
 - モーターグレーダー
 - ラフテレンクレーン
 - 圧碎機
- ※施工区域外の建設機械は、関連工事で稼働する建設機械である。

図 8.2-8(1) 工事の実施(造成工事の実施)による騒音レベルの予測結果：2020年度
(2021年2月)



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

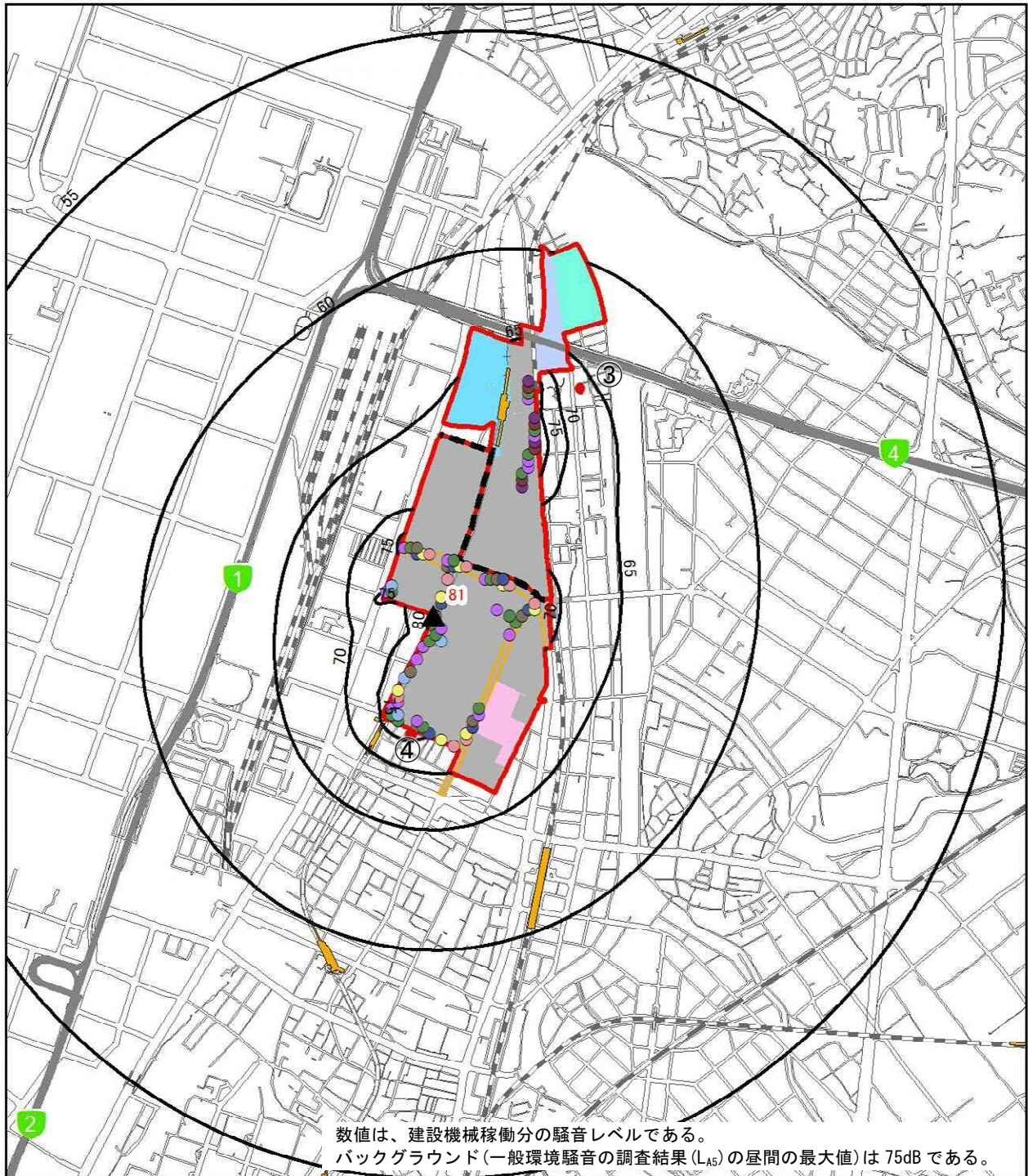
- 工区割り
- 北1工区
 - 北2工区
 - 北3工区
 - 北4工区
 - 北5工区
 - 南3工区
 - 近代建築物活用ゾーン
 - 予測地点
 - 施工区域
 - 2021年度



- ▲ 最大騒音レベル地点(赤数字:騒音レベル)
 - 2021年度騒音レベルLA5(dB)(規制基準は85dB)
- | | | |
|--|---|---|
| 機械種類 | ● コンクリートポンプ車 | ● マカダムローラー |
| ● アスファルトフィニッシャ | ● タイヤローラー | ● モーターグレーダー |
| ● アースオーガ | ● ダンプ | ● ラフテレンクレーン |
| ● クローラクレーン | ● トラッククレーン | ● 圧砕機 |
| ● クローラ式アースオーガ | ● バックホウ | ● 生コン車 |

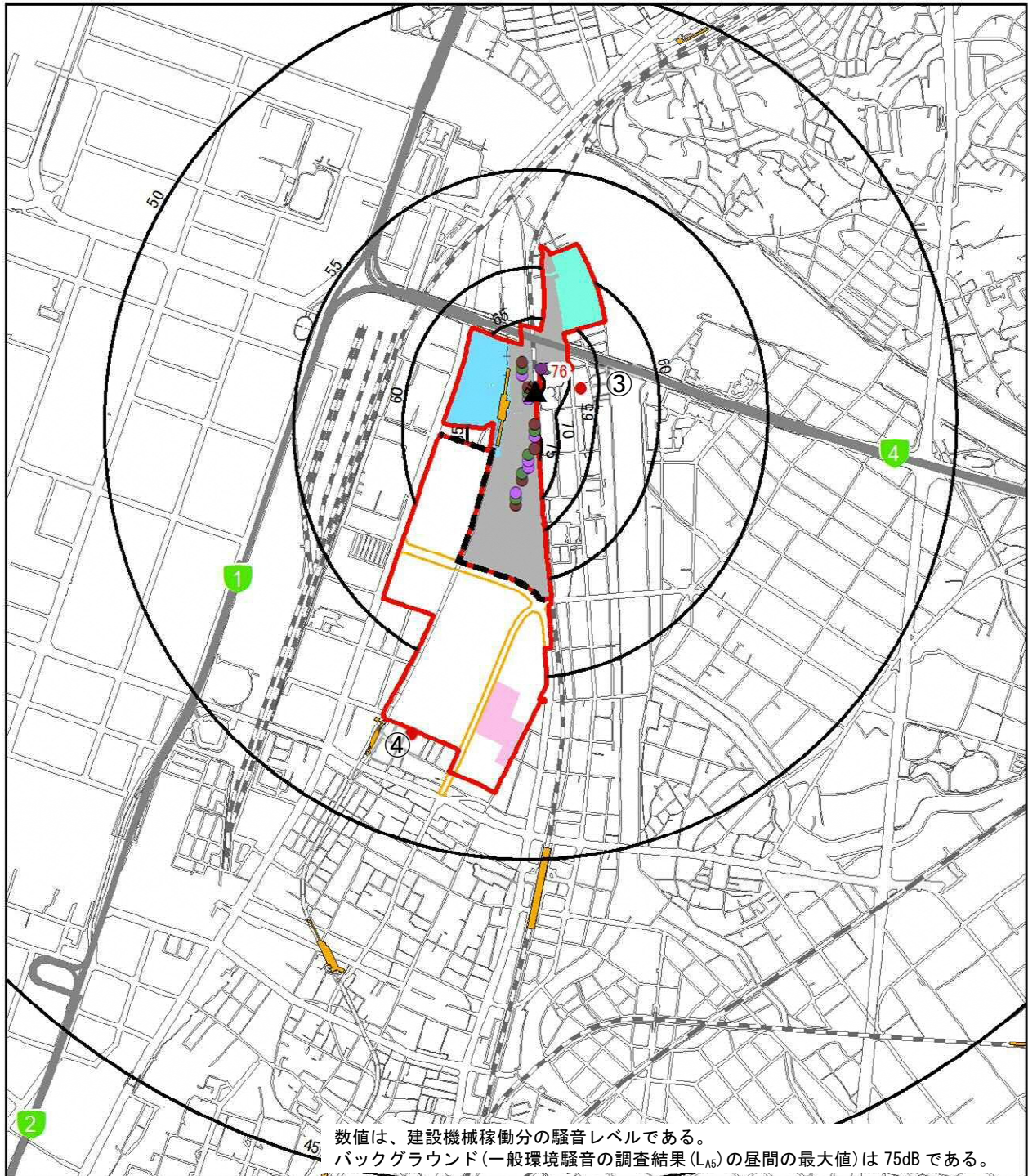
※施工区域外の建設機械は、関連工事で稼働する建設機械である。

図 8.2-8(2) 工事の実施(造成工事の実施)による騒音レベルの予測結果：2021年度(2021年10月)



凡例		1:20,000 0 200 400 800 メートル 	
<ul style="list-style-type: none"> 事業実施区域 北エリア・南エリア境界 福岡都市高速 都市計画道路(関連事業) 駅 JR 新幹線 私鉄 地下鉄 	<ul style="list-style-type: none"> 工区割り 北3工区 北4工区 北5工区 近代建築物活用ゾーン ● 予測地点 施工区域 2022年度 	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 最大騒音レベル地点(赤数字:騒音レベル) 2022年度騒音レベルLA5(dB) (規制基準は85dB) 	機械種類 <ul style="list-style-type: none"> ● バックホウ ● プル ● マカダムローラー ● モーターグレーダー ● ラフテレンクレーン ● アスファルトフィニッシャー ● タイヤローラー ● ダンプ ● トラッククレーン

図 8.2-8(3) 工事の実施(造成工事の実施)による騒音レベルの予測結果：2022年度(2022年7月)



数値は、建設機械稼働分の騒音レベルである。
 バックグラウンド(一般環境騒音の調査結果(L_{A5})の昼間の最大値)は75dBである。

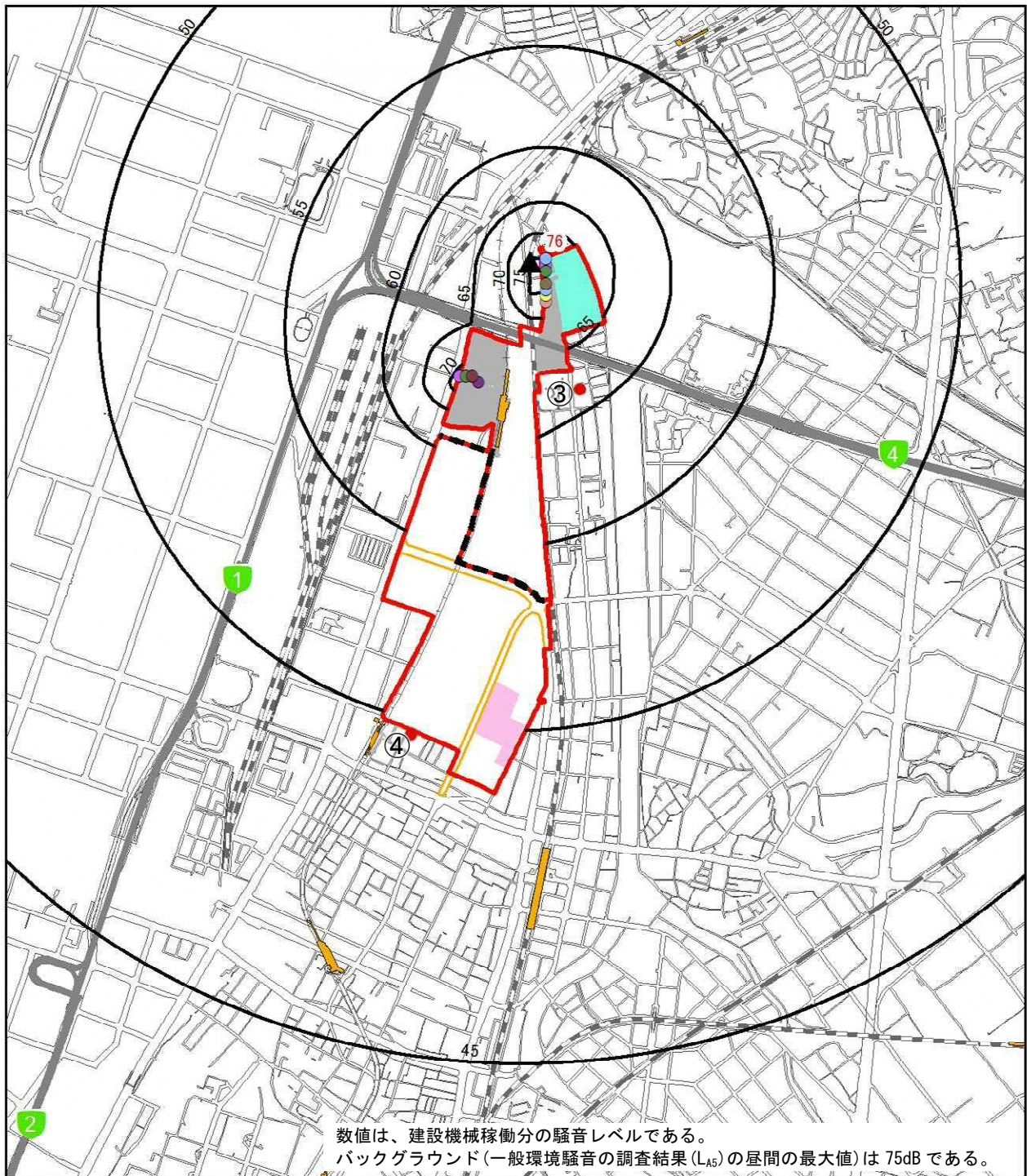
凡例 事業実施区域 北エリア・南エリア境界 福岡都市高速 都市計画道路(関連事業) 駅 JR 新幹線 私鉄 地下鉄		工区割り 北4工区 北5工区 近代建築物活用ゾーン 施工区域 2023年度		1:20,000 0 200 400 800 メートル 	
最大騒音レベル地点(赤数字:騒音レベル) 2023年度騒音レベルLA5(dB)(規制基準は85dB)		機械種類 ダンプ トラッククレーン バックホウ ラフテレーンクレーン		予測地点	

図 8.2-8(4) 工事の実施(造成工事の実施)による騒音レベルの予測結果：2023年度
 (2023年8月)



凡例		工区割り		1:20,000	
事業実施区域	北4工区	北5工区	近代建築物活用ゾーン	0 200 400 800メートル	
北エリア・南エリア境界	予測地点	最大騒音レベル地点(赤数字:騒音レベル)	2024年度騒音レベルLA5(dB)(規制基準は85dB)	W N E S	
福岡都市高速	施工区域	機械種類	バックホウ	プル	
都市計画道路(関連事業)	2024年度	タイヤローラー	ダンプ	マカダムローラー	
駅		トラッククレーン	モーターグレーダー		
JR					
新幹線					
私鉄					
地下鉄					

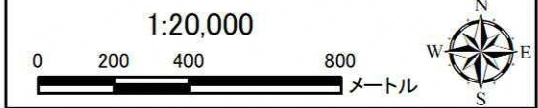
図 8.2-8(5) 工事の実施(造成工事の実施)による騒音レベルの予測結果：2024年度
(2024年12月)



数値は、建設機械稼働分の騒音レベルである。
 バックグラウンド(一般環境騒音の調査結果(LA5)の昼間の最大値)は75dBである。

凡例

- | | |
|------------------|------------|
| 事業実施区域 | 工区割り 北5工区 |
| 北エリア・南エリア境界 | 近代建築物活用ゾーン |
| 福岡都市高速 | 予測地点 |
| 都市計画道路(関連事業)施工区域 | 2025年度 |
| 駅 | |
| JR | |
| 新幹線 | |
| 私鉄 | |
| 地下鉄 | |



- 最大騒音レベル地点(赤数字:騒音レベル)
- 2025年度騒音レベルLA5(dB)(規制基準は85dB)
- 機械種類
- | | |
|----------|------------|
| フル | マカダムローラー |
| タイヤローラー | モーターグレーダー |
| ダンプ | ラフテレーンクレーン |
| トラッククレーン | バックホウ |

図 8.2-8(6) 工事の実施(造成工事の実施)による騒音レベルの予測結果：2025年度(2025年9月)